

福島支部 冬季研修会 活動報告

1 日 時 平成22年 2月13日(土)

2 会 場 福島市立三河台小学校

3 参加人数 39人

4 日 程

(1) 開会

開会の言葉
支部長あいさつ

佐藤 陽一(幹事)
林出 政治(支部長)

(2) 論文発表

日	程
	開会式
	論文発表1【幼児教育支援プログラム】 若葉台保育園
	福島市立金谷川幼稚園
	 
	幼児教育について
	(休憩)
	論文発表2【子ども科学教育プログラム】 福島市立三河台小学校
	福島市立福島第一小学校
	 
	福島市立矢野目小学校
	伊達市立月舘小学校
	 

二本松市立安達太良小学校



(休憩)

協議

応募論文の書き方

閉会式

論文展示

(3) 協議

(4) 論文応募に向けて

幼児教育支援プログラム

子ども科学教育プログラム

ソニー教育財団 武藤 良弘 様

(5) 閉会

SSTA副理事長あいさつ

野崎 修司

諸連絡

山本 巖(事務局長)

閉会の言葉

鈴木 和美(幹事)

5 参観者からの声(当日アンケート結果より)

幼稚園・保育園の先生方から

- ・小学校の発表を聞き、幼稚園とつながる部分があると改めて感じ、参考になった。幼小連携についてもっと知りたい。
- ・小学校の発表が大変参考になった。小学校の学習は幼稚園の遊びとつながっていることを再確認することができた。幼稚園教育の大切さを実感した。
- ・子どもたち一人ひとりの思いや気付きに共感し、一緒に関わっていくことの大切さを感じることができた研修会だった。
- ・保育園・幼稚園の研究発表をお聞きして、教師自身の幼児を見る目、その他いろいろなものに関わっていくことの大切さを学ばせていただいた。子どものためにを大事にして、また明日から保育に携わっていききたい。

小学校の先生方から

- ・それぞれの園や学校の実態に応じ、「できるところから始める」という原点を再確認できた。本日の発表をもとに、自校では何ができるのか、何から始められるのか考えていきたい。
- ・特に幼稚園での関心の高さが見られた。今後こうした流れを広げていきたい。また、さらに仲間を増やすことに全力を尽くしたい。
- ・研究の取り組みが他の教科にどう波及しているのかをさらに知りたかった。とてもよい研修会だった。武藤さんのお話がとても良かった。
- ・特別支援教育にも関わる発表を聞くことができ、元気が出た。今、体験していることを大切に少しずつ日々の教育に取り組んでいきたい。